

中小企業景況調査報告書

2024年4～6月期実績
2024年7～9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

- (1) 調査対象時期等
 - ①調査対象時期：2024年4～6月期の実績及び2024年7～9月期見通し
 - ②調査期間：2024年5月21日～6月4日 ※調査時点は2024年6月1日
- (2) 調査方法
 - ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
 - ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。
- (3) 調査対象商工会
 - ①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、鹿追町、本別町、弟子屈町
 - ②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
 - ③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率	
製造業	48	46	95.8%	小売業	87	83	95.4%	
建設業	51	49	96.1%	サービス業	114	104	91.2%	
		合計				300	282	94.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

- (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？
前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。
例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前期比				今期	
	今期	来期見込	R5.7-9	R5.10-12	R6.1-3	R6.4-6	今期	来期見込
製造業	▲ 28.2	▲ 26.1	10.0	6.0	▲ 11.8	▲ 21.3	▲ 13.0	▲ 28.3
建設業	▲ 14.2	▲ 20.4	0.0	▲ 8.9	▲ 10.6	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 14.3
小売業	▲ 36.5	▲ 32.9	▲ 31.4	▲ 25.3	▲ 23.2	▲ 34.2	▲ 24.4	▲ 30.5
サービス業	▲ 25.5	▲ 17.6	▲ 12.7	▲ 13.6	▲ 31.5	▲ 32.7	▲ 22.5	▲ 10.8

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同相比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同相比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 7-9	R5. 10-12	R6. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	2.2	0.0	18.0	9.8	6.4	8.7	0.0
	不 変	67.4	73.9	70.0	68.6	65.9	69.6	71.7
	悪 化	30.4	26.1	12.0	21.6	27.7	21.7	28.3
	D・I	▲ 28.2	▲ 26.1	6.0	▲ 11.8	▲ 21.3	▲ 13.0	▲ 28.3
売上(加工)額	増 加	10.9	4.3	38.0	23.5	12.8	32.6	
	不 変	52.1	58.7	34.0	43.2	40.4	37.0	
	減 少	37.0	37.0	28.0	33.3	46.8	30.4	
	D・I	▲ 26.1	▲ 32.7	10.0	▲ 9.8	▲ 34.0	2.2	
資金繰り	好 転	2.3	0.0	8.2	2.0	4.3	4.5	
	不 変	84.1	88.6	79.6	84.3	80.5	81.9	
	悪 化	13.6	11.4	12.2	13.7	15.2	13.6	
	D・I	▲ 11.3	▲ 11.4	▲ 4.0	▲ 11.7	▲ 10.9	▲ 9.1	
原材料仕入単価	上 昇	69.6	58.7					
	不 変	30.4	39.1					
	低 下	0.0	2.2					
	D・I	69.6	56.5					
採算(経常利益)	好 転	4.3	2.2					
	不 変	63.1	69.5					
	悪 化	32.6	28.3					
	D・I	▲ 28.3	▲ 26.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

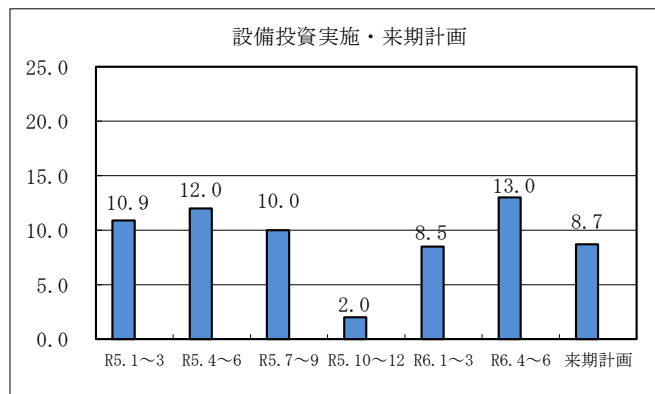
回答46事業所の内、6事業所(13.0%)が実施。

●生産設備=4事業所、●車両・運搬具、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

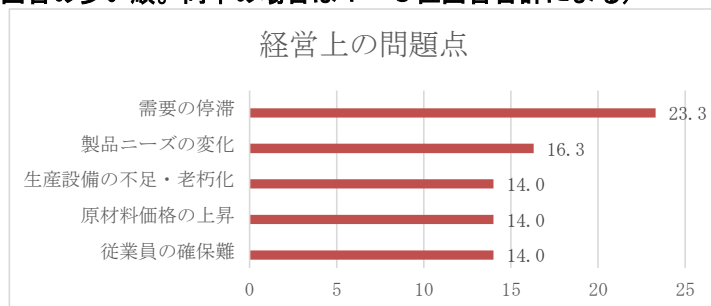
回答46事業所の内、来期に4事業所(8.7%)が計画。

●生産設備=3事業所、●付帯施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回3位だった「需要の停滞」で前回より5.5ポイント増加している。2位は前回4位だった「製品ニーズの変化」で9.6ポイント増加している。3位は前回5位だった「生産設備の不足・老朽化」と前回1位だった「原材料価格の上昇」と前回2位だった「従業員の確保難」が同ポイントで並んだ。「生産設備の不足・老朽化」は前回より7.3ポイント増加し「原材料価格の上昇」は前回より19.3ポイント減少した。「従業員の確保難」は6.0ポイント減少となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R5. 7-9	R5. 10-12	R6. 1-3	今期	来期見込
業況	好転	8.2	0.0	8.9	6.4	4.5	4.1	4.1
	不変	69.4	79.6	73.3	76.6	75.0	77.5	77.5
	悪化	22.4	20.4	17.8	17.0	20.5	18.4	18.4
	D・I	▲ 14.2	▲ 20.4	▲ 8.9	▲ 10.6	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 14.3
完成工事 （請負工 事）額	増加	12.2	8.2	31.1	25.5	15.9	22.4	
	不変	55.1	61.2	48.9	44.7	45.5	42.9	
	減少	32.7	30.6	20.0	29.8	38.6	34.7	
	D・I	▲ 20.5	▲ 22.4	11.1	▲ 4.3	▲ 22.7	▲ 12.3	
資金繰り	好転	12.5	6.3	4.5	6.5	9.1	8.3	
	不変	72.9	81.2	88.7	84.8	77.3	81.3	
	悪化	14.6	12.5	6.8	8.7	13.6	10.4	
	D・I	▲ 2.1	▲ 6.2	▲ 2.3	▲ 2.2	▲ 4.5	▲ 2.1	
材料 仕入単価	上昇	79.2	54.2					
	不変	20.8	41.6					
	低下	0.0	4.2					
	D・I	79.2	50.0					
採算（経 常利益）	好転	4.1	2.0					
	不変	59.2	67.4					
	悪化	36.7	30.6					
	D・I	▲ 32.6	▲ 28.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

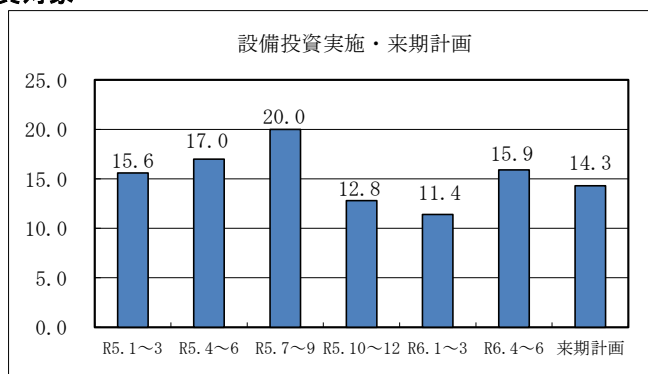
回答49事業所の内、8事業所（16.3%）が実施。

●建設機械、車両・運搬具=各5事業所、●土地、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

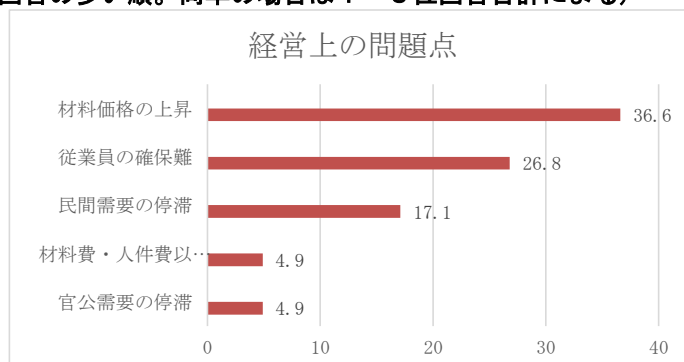
回答49事業所の内、来期は7事業所（14.3%）が計画。

●建設機械=3事業所、●土地、車両・運搬具=各2事業所、●建物=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回2位の「材料価格の上昇」で7.7ポイント増加した。2位は前回1位の「従業員の確保難」で7.4ポイント減少した。3位は前回5位の「民間需要の停滞」で11.8ポイント増加した。4位は前回番外だった「材料費・人件費以外の経費の増加」と前回3位だった「官公需要の停滞」が同ポイントで並んだ。「材料費・人件費以外の経費の増加」は2.3ポイント増加し「官公需要の停滞」は8.3ポイント減少した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 7-9	R5. 10-12	R6. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	9.8	7.3	9.6	8.5	7.6	7.3	8.5
	不 変	43.9	52.5	55.5	59.8	50.6	61.0	52.5
	悪 化	46.3	40.2	34.9	31.7	41.8	31.7	39.0
	D・I	▲ 36.5	▲ 32.9	▲ 25.3	▲ 23.2	▲ 34.2	▲ 24.4	▲ 30.5
売上額	増 加	22.9	15.7	16.9	26.8	8.8	21.7	
	不 変	42.2	54.2	53.0	41.5	44.9	49.4	
	減 少	34.9	30.1	30.1	31.7	46.3	28.9	
	D・I	▲ 12.0	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 4.9	▲ 37.5	▲ 7.2	
資金繰り	好 転	6.2	6.2	4.9	2.5	3.8	7.4	
	不 変	66.6	67.9	73.1	74.7	69.3	67.9	
	悪 化	27.2	25.9	22.0	22.8	26.9	24.7	
	D・I	▲ 21.0	▲ 19.7	▲ 17.1	▲ 20.3	▲ 23.1	▲ 17.3	
商 品 仕入単価	上 昇	71.1	53.0					
	不 変	25.3	39.8					
	低 下	3.6	7.2					
	D・I	67.5	45.8					
採算(経 常利益)	好 転	11.0	9.8					
	不 変	46.3	51.2					
	悪 化	42.7	39.0					
	D・I	▲ 31.7	▲ 29.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

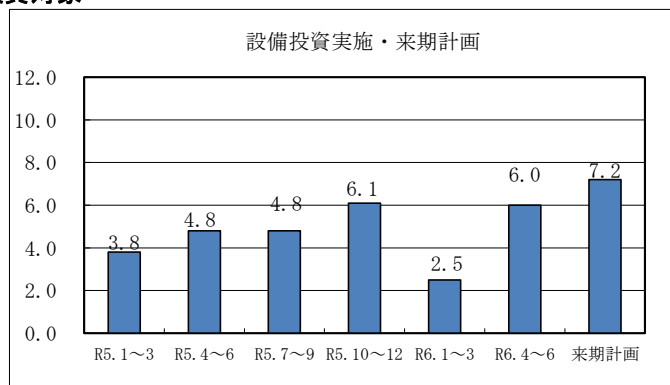
回答83事業所の内5事業所(6.0%)が実施。

●販売設備、車両・運搬具=各2事業所、●付帯施設=1事業所

【来期計画内容】

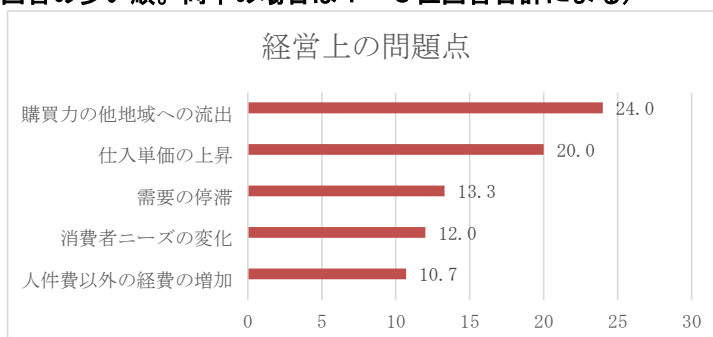
回答83事業所の内、来期は6事業所(7.2%)が計画。

●OA機器=4事業所、●販売設備=3事業所、●土地、店舗、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「購買力の他地域への流出」で3.4ポイント減少した。2位は前回同様「仕入単価の上昇」で0.5ポイント減少した。3位は前回同様「需要の停滞」で0.4ポイント減少した。4位は前回同様「消費者ニーズの変化」で3.8ポイント増加した。5位は前回番外だった「人件費以外の経費の増加」で5.2ポイント増加した。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R5. 7-9	R5. 10-12	R6. 1-3	今期	来期見込
業況	好 転	5.9	4.9	9.1	0.9	3.8	5.9	7.8
	不 変	62.7	72.6	68.2	66.7	59.7	65.7	73.6
	悪 化	31.4	22.5	22.7	32.4	36.5	28.4	18.6
	D・I	▲ 25.5	▲ 17.6	▲ 13.6	▲ 31.5	▲ 32.7	▲ 22.5	▲ 10.8
売上(収入)額	増 加	17.3	17.3	33.6	12.6	8.7	24.0	
	不 変	51.9	52.9	41.9	50.5	51.9	52.0	
	減 少	30.8	29.8	24.5	36.9	39.4	24.0	
	D・I	▲ 13.5	▲ 12.5	9.1	▲ 24.3	▲ 30.7	0.0	
資金繰り	好 転	4.9	3.9	6.5	1.8	1.0	5.8	
	不 変	73.7	78.6	74.1	76.2	71.5	75.8	
	悪 化	21.4	17.5	19.4	22.0	27.5	18.4	
	D・I	▲ 16.5	▲ 13.6	▲ 12.9	▲ 20.2	▲ 26.5	▲ 12.6	
仕入単価(材料等)	上 昇	68.9	57.3					
	不 変	30.1	41.7					
	低 下	1.0	1.0					
	D・I	67.9	56.3					
採算(経常利益)	好 転	2.9	4.8					
	不 変	62.5	65.4					
	悪 化	34.6	29.8					
	D・I	▲ 31.7	▲ 25.0					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

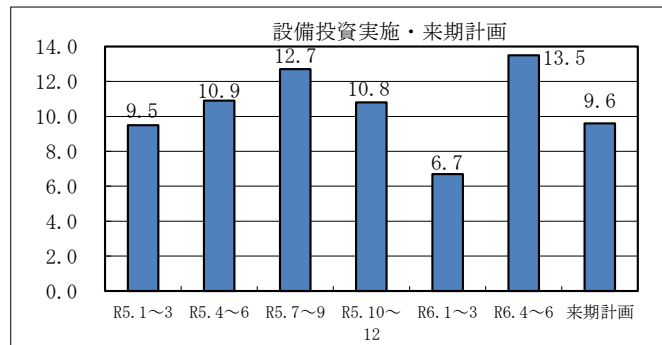
回答104事業所の内、14事業所(13.5%)が実施。

●車両・運搬具=7事業所、●建物、付帯施設=各3事業所、●サービス=2事業所、●土地、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

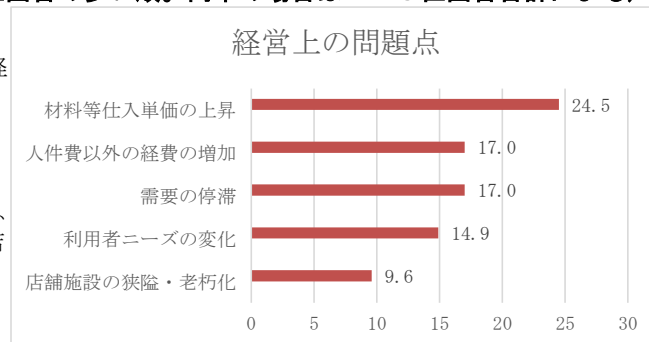
回答104事業所の内、10事業所(9.6%)が計画。

●サービス、車両・運搬具、付帯施設=各3事業所、●その他=2事業所、●建物、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様「材料等仕入単価の上昇」で4.1ポイント増加した。2位は前回5位だった「人件費以外の経費の増加」と前回2位だった「需要の停滞」が同ポイントで並んだ。「人件費以外の経費の増加」は6.8ポイント増加で「需要の停滞」は0.7ポイント増加した。4位は前回3位だった「利用者ニーズの変化」で1.6ポイント増加した。5位は前回4位だった「店舗施設の狭隘・老朽化」で1.6ポイント減少した。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

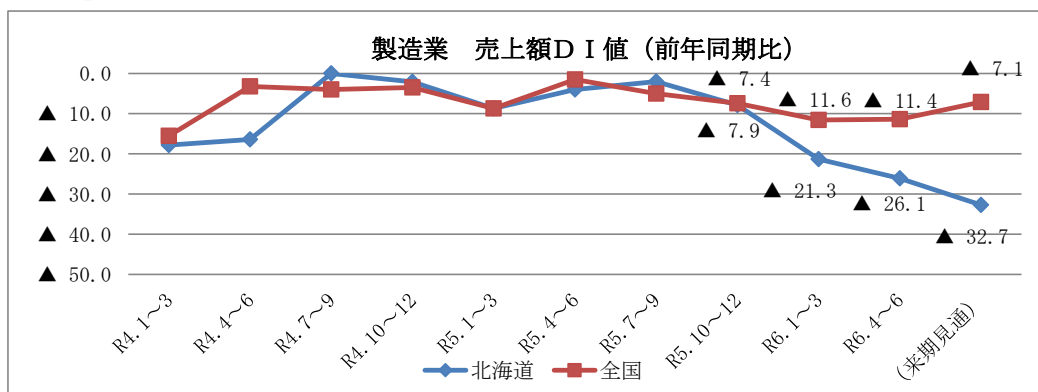
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

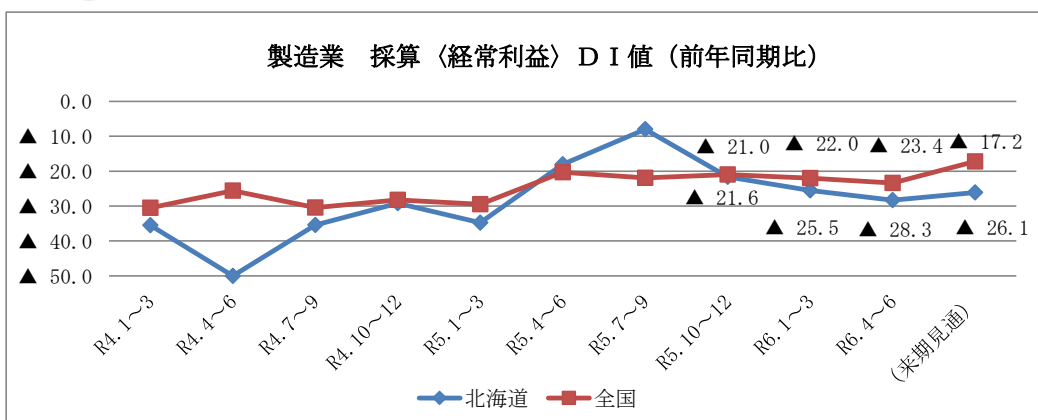
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

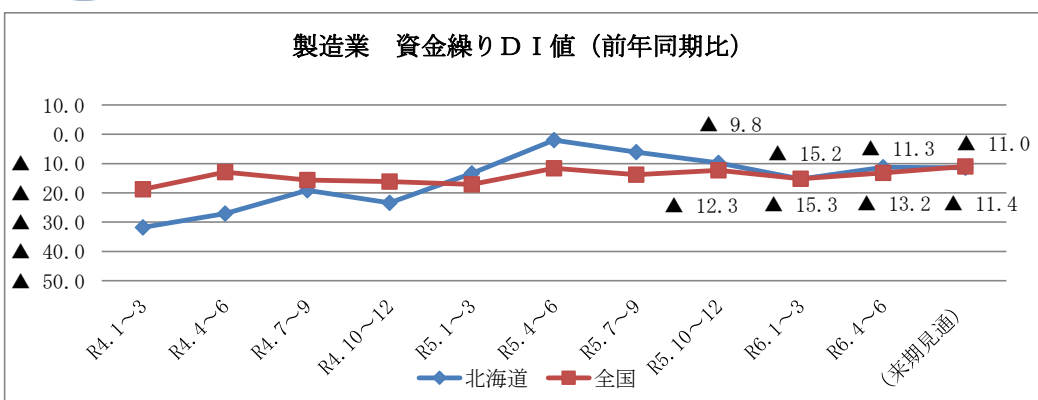
売上額



採算



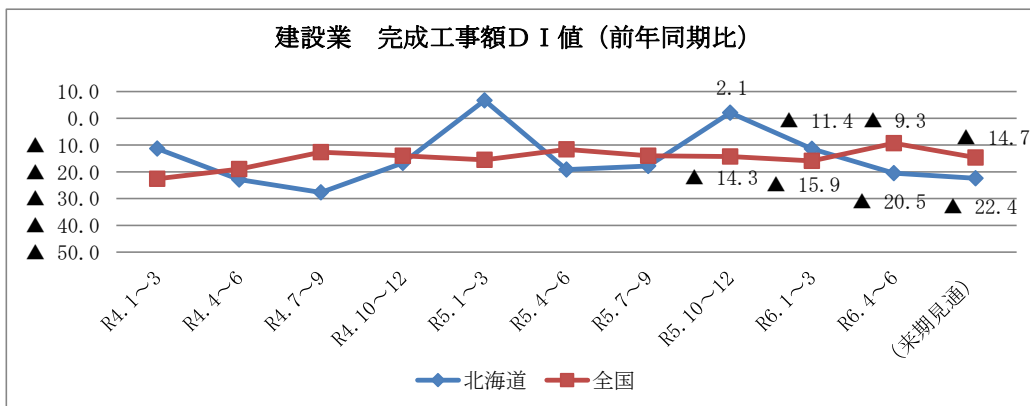
資金繰り



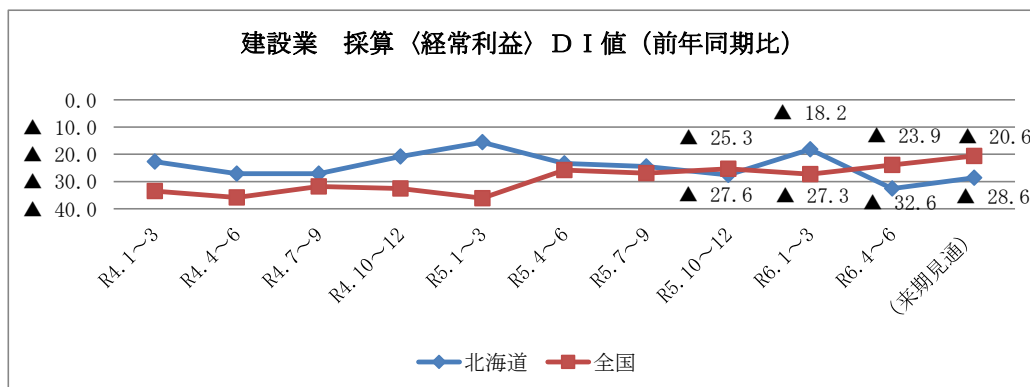
建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

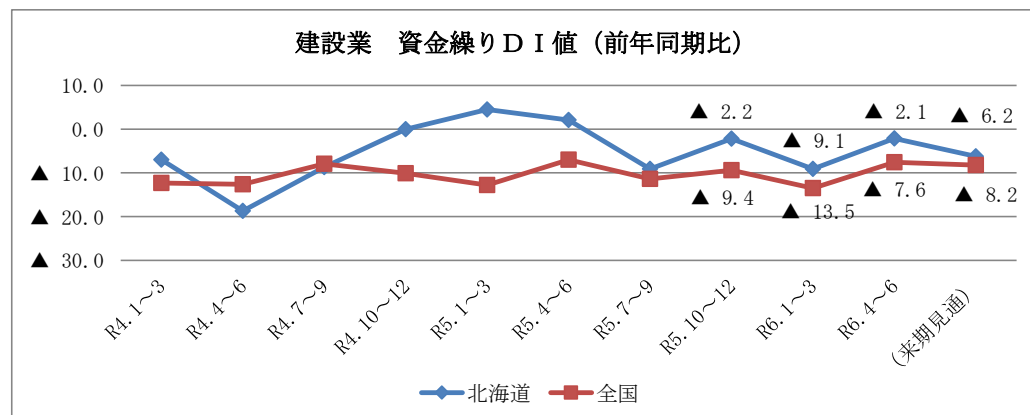
完成工事額



採算



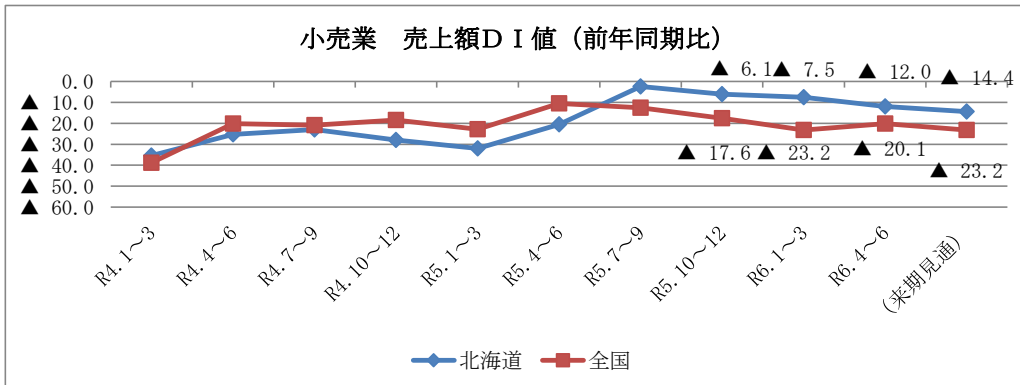
資金繰り



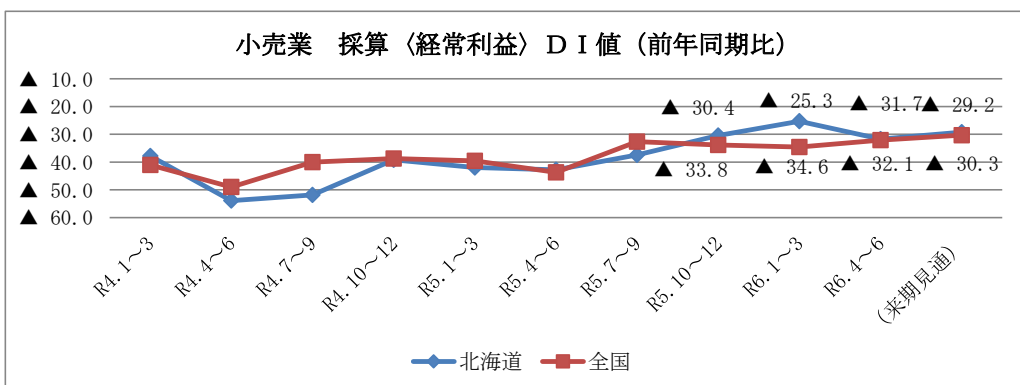
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

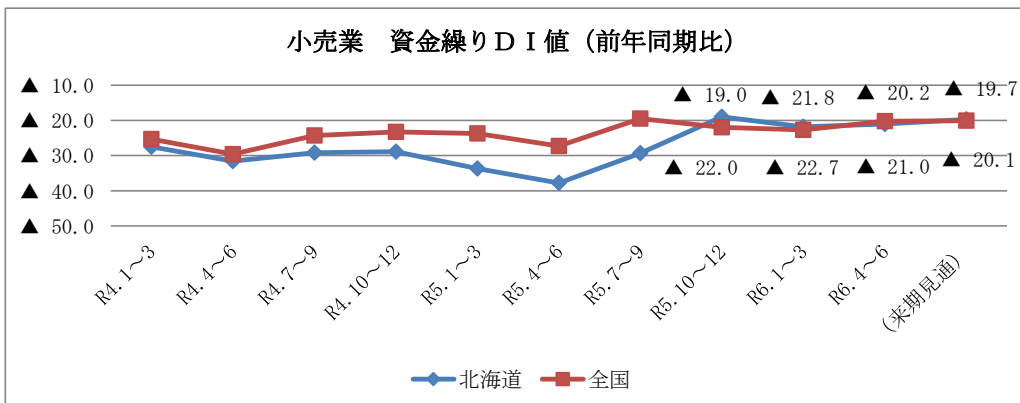
売上額



採算



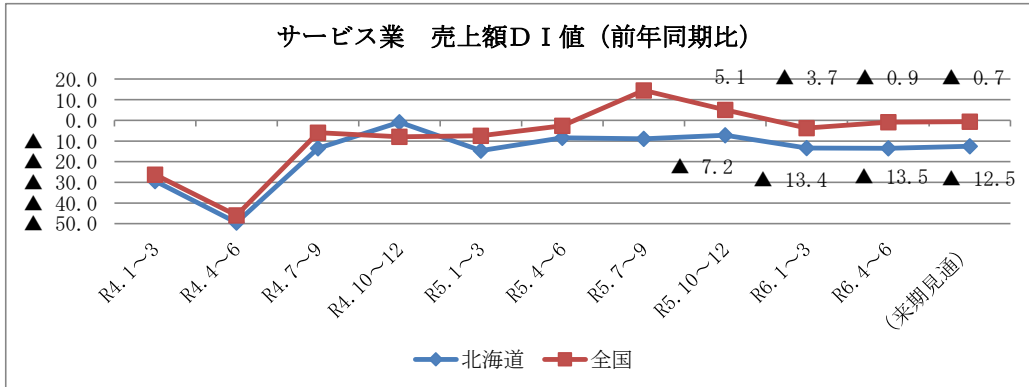
資金繰り



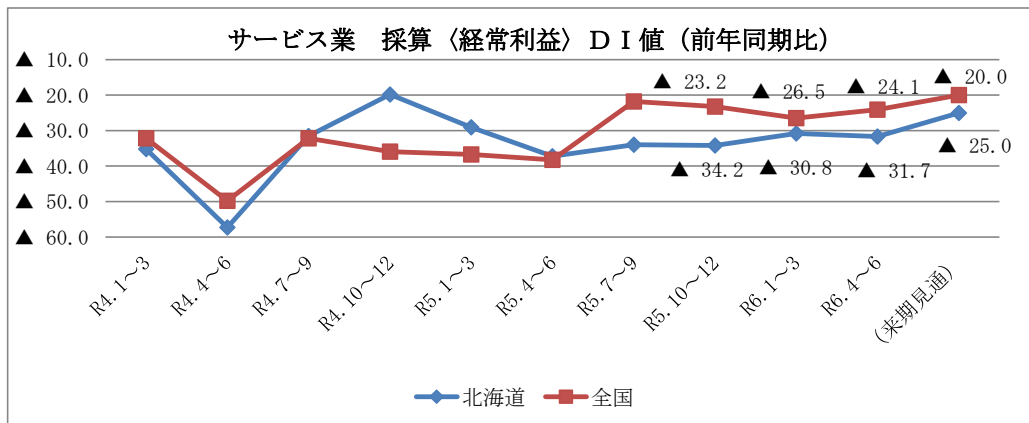
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

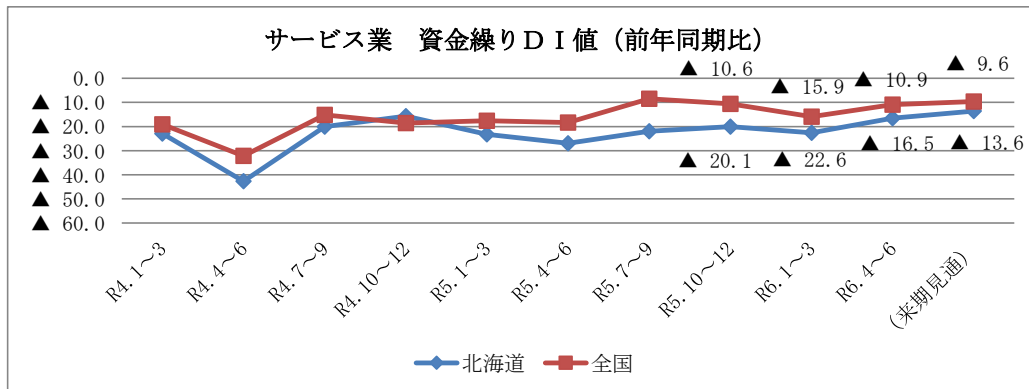
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○売上の基本となっているレザーの販売が少なくなってしまった。原因は本州でレザーが売れないため。今まで会社向けに原材料として出荷することが多かったが客層を個人に向けて売上も目指す。</p> <p>○町内への旅行者が若干少なくなった気がしますが、今のところ売上に影響していない。</p> <p>○前年同期はTV影響があり大きく売上が上がったため今期は下がっているが、TV影響を考慮すれば、業績は確実に上がっている。ただ人手不足が酷いため直売所に定休日を設けたりしているため機会損失は多い。</p> <p>○従業員増加に伴い、複数の現場を同時受注することも可能になり、今までより受注数を増やしていきたいと考えています。今後の課題としては技能・技術継承をどのように行っていくかだと考えています。</p> <p>○今年は何が起こってもおかしくないと考えている。資材の高くなることは、2倍から4倍くらいになるとみている。ともかく、生き残る。来年も生き残れば10年はもつだろう。</p> <p>○紙を使用した製品の需要が減少し、原材料・加工費の上昇分を全て売上に反映することができず、利益の減少が年々増えています。</p> <p>○ニーズの変化への対応が急務であるが、生産設備の老朽化が進み事業資金の借入難で事業展開の方向性を従来とは違う方法を見つけなければと感じています。</p>
建設業	<p>○旭川市内の新築棟数が平成17年ピーク時の半分にまで減少しており、建設業界は苦境に立たされていると感じている。今後の動きも不透明。</p> <p>○賃上げも実施はするが、経費の増加(機械購入費・資材・燃料等)でなかなか明るい景況は見通せない。</p> <p>○材料の上昇が危惧される。</p> <p>○資材高騰により、業績が悪化している。</p> <p>○今年は去年の猛暑により、空調工事が多く発注され、売上こそ前年を上回る見込みだが、材料の高騰、品不足などに比べ、2024年問題もあり、下請け業者の確保という問題も発生している。</p>

<p style="text-align: center;">小 売 業</p>	<p>○不況の波が、未だに解消されていません。</p> <p>○昨年は、あらゆる物が値上げで、市民及び私達も仕入単価が上がり、経費も上がり大変な一年で、今までにない業績の落ち込みでした。</p> <p>○仕入単価が上昇している分、販売価格を上げざるを得ず、少しずつではあるが上げている。売り上げが伸びない中、光熱費をはじめ経費が増加しているため利益が少ない。維持していくのが大変です。</p> <p>○従業員不足が深刻であり、通常営業が難しい状況にある。ニセコ地域の特殊環境の影響が大きい。今後、現状より良くなる事は考えられず、人材をどう確保していくかが課題。</p> <p>○今年の冬はインバウンドが戻り、メディアで多く取り上げられた反面、ニセコが高いという印象がつきすぎて今は観光客が減少していると思う。売上は上がっているが来店客が減っており売上のバランスを取るのが難しい。</p> <p>○仕入単価が毎月の様に上昇し、仕入量は減少している。</p> <p>○物価高騰により購買力も低下して売上減少を感じる。設備投資も実施しているので先行きが不安だが売上維持を目標にしている。</p> <p>○冷蔵機器の入替に踏み切ったものの、それに見合った結果が得られるか不安が募る。加えて2024年問題の影響で既に売り逃がしが発生、更にコストが上がれば商品価格に転嫁することは避けられず厳しい状況が続く。</p> <p>○日本全体を見ても元気なのは観光業が整っている地域で人の流れが著しく多い地元民高齢者の外出減少により従来の商店街に行こうと考えている人が減っている事は確かだと思う新しい環境作りが人の流れに変化を与える。</p> <p>○コロナが終わり人の流動は盛んになってきましたが、原料の高騰により商品の値上げを実施せざるをえないのでお客様の買い控えに繋がって売上の上昇になかなか繋がらないようです。</p>
<p style="text-align: center;">サ ー ビ ス 業</p>	<p>○今年から値上げして売上が上がったが仕入が高くて思うように利益が上がらない。</p> <p>○色々なものが電子化になり、便利な反面事務的な負担も大きくなったと思います。</p> <p>○全ての商品を2割値上げしたので売上、利益共に上がった。</p> <p>○ニセコエリアでは冬はインバウンドの回復に伴い日本人が利用できない。一部の宿泊価格の為、イメージダウンで客離れがおきている。夏は日本人が主流だがニーズの変化への対応に遅れ観光地とはいえない。</p> <p>○コロナ後の反動的な教育旅行の伸びが一段落し、コロナ以前のペースに戻ったようだ。円安で国内旅行の需要増の兆しがあり、夏の集客増が期待できるが、教育旅行減を補填するほどのボリュームは見込みが薄い。</p> <p>○入院療養による長期休業によって、売上が減少した。</p> <p>○ウィンドウズ11への切り替えが進んだことによるパソコンサポートが増大した。今後も増える可能性がある。</p> <p>○時節柄前期より悪化。前年同期よりは好転となるも決算期で収支トントンという時期である。今期は黒字化対策に努めているが、大変厳しい運営となっている。</p> <p>○宴会数の減少、宴会人数の減少による売上減少が続いている。食材高騰により、値上げ対応も何度か実施しているが、これ以上値上げを続けると客離れが加速する。</p> <p>○コロナの影響はなくなってきたが、仕入、光熱費、店舗修繕費等の高騰が続いており、業況の悪化につながっている。商品の提供価格を上げたくないが、上げざるを得ない業況である。</p> <p>○なかなか旅行等に使うお金を捻出する程個人所得が上がっていないのか人の流れがまだ少ないと感じている。</p> <p>○各地のイベントが復活し、コロナ前の水準に戻った感がある。また、補助金やコロナ融資で導入した設備の稼働率も上がり順調に売上規模が伸びている。様々な物がインフレしているが自社製品の値上げで対応できている。</p> <p>○悪いながらも安定している。人口減ではあるけれど、業者も高齢化により数が減少しているのでプラスマイナスゼロである。安い店も数が多くなり、これからは淘汰されてくると思う。</p>